

岩屋中だより

令和5年11月24日 NO17

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

秋から冬へ・・・学びの秋→冬

理科の研究成果が本県代表に

全国科学振興委員会、読売新聞社、国立研究開発法人科学技術振興機構主催の第67回日本学生科学賞長崎県審査委員会において、本校の2年生の〇さんの研究成果が大きく評価され、全国大会に出品され、新聞社の取材も受けています。6年間にわたる研究と聞いています。誠にありがとうございます。このことを同じ学校で生活する仲間として喜びを共有したいと思います。研究テーマは「長崎県の両側回遊種について」です。長崎県内各地の川を調査した結果をまとめたもので、厚いバインダー1冊になる大作です。

理科という教科を生徒の皆さんも学習していますが、理科は、私たちの生活と大きく関わっている教科だと考えます。私は、私たちの生活を支える「科学」は、物理学、地質学、化学、生物学、医学、天文学など私たちの生活の中の様々な要素を網羅する大切なものと思います。その科学が私たちの生活を発展させてきたと言えます。理科だけでなく、私たちの生活を支え、社会をつくる要素は他にもたくさんあり、言語であったり、芸術であったり、運動であったり、食育や情報科学、歴史学、地誌学であったり、政治学、経済学など多岐にわたります。私たちの学びは、私たちの生活や社会を支える大事な要素だと思います。社会を支える私たちが学び、学んだことを活かして主体的に活動していくことが人間らしい社会なのかもしれません。しかし、近年は、人工知能（AI）の発達が進み、実際に社会を動かす道具として使用され始めています。私たちが生きていく社会は、予測が困難な社会であり、今世紀半ばには、人工知能が人間知能に追いつくと言われていています。それ故、私たちは、人としての温かみを失わず、「心」を大切に、予測困難なこと状況におかれても、課題やその解決方法を自ら考え、人工知能に使われることなく、主体的に生きていくことが必要です。私たちが「学び続けること」や「人間らしさを大切にすること」は、科学技術が一層発展した社会で生きていく上で、大切なことだと思います。難しい話になりましたが、「学びの秋」の一つとして捉えてください。（私たちは科学技術を使っても、科学技術に使われるようになってはいけないと思い記しました。）

凡事徹底（ぼんじてっい）

難しく感じるかもしれませんが、校内で皆さんが生活する中で、皆さんが心がけていることで、これから心がけていくべきことでもあります。凡事徹底とは「なんでもないような当たり前の事を徹底的に行うこと」または「当たり前のことを他人の追随（ついで）を許さないほど極（きわ）めること」という意味です。皆さんは学校生活の中で、または家庭生活の中で「なんでもないような当たり前のこと」と言われて、何を想像するでしょうか？「なんでもないような当たり前のこと」＝「簡単な心がけで達成できること」と考えると校内生活でもいくつか思い浮かぶのではないのでしょうか。

例えば、

- あいさつをする。
- 姿勢を正す。
- トイレのスリッパを並べる。
- 教室を離れるときに窓やドアを閉める。
- 咳エチケット
- 下足箱の靴のかかとをそろえる。
- 公共の場では、騒がない。
- 下校するときには、教室の窓を閉める。
- 時間を守る（わずかな時間を大切に）

などたくさんありますね。

では、凡事徹底に関係する校内に見られるメッセージを次に示します。



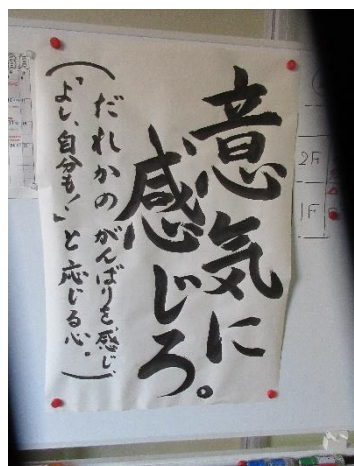
生徒総会で議題となった、職員室前を静かに歩行するためのサイレントゾーンの看板です。生徒会本部がペイントし、木の枠は庁務員の平湯さんが制作しました。「静かにすべきところでは静かにして歩く」ことは、凡事徹底の一つだと思えます。「声を出さないで歩く」=簡単にできることですね。

- トイレチェックのポイント
- ① スリッパが並んでいるか
 - ② 電気が消しているか
 - ③ 床に紙やゴミが落ちていないか
 - ④ 流し忘れがないか
 - ⑤ ペーパーが巻きとられているか
 - ⑥ 掃除道具が片付いているか

新2ナ「昨日のレ」

	男	女
2F	Xスリッパ ○電灯	○スリッパ ○電灯
1F	△スリッパ ○電灯	△スリッパ ○電灯

3年生のトイレ前にあるトイレのチェックポイントと状況を示す板書です。凡事徹底のために、『気づき・考え・行動する』人間的成長は、きっと将来の幸せにつながると考えます。



公立後期受検まで
一・二・六日(十一月一日現在)
三・〇・二・四時間
与えられた時間は同じです。

目標達成に向けた
具体的行動を
可視化する
行動する。

第3学年の廊下の掲示板のメッセージです。三者面談を終えて、いよいよ進路実現に向け、本格的に動き出す3年生ですが、与えられた時間は、平等です。しかし、その時間をどのように使うかによって、その先の成長が変わってきます。平等に与えられた時間の活用方法は、各個人にゆだねられています。これは、3年生だけではありません。中学生だけではありません。すべての人に対してそうです。「あなたは与えられた時間をどのように使いますか?」という問いに対して、私自身も改めて考えていきたいと思えます。時間に追われるのではなく、時間を追いたいものです。

大谷翔平選手

体のクセ 柔軟性	メンタル	人間性	礼儀	FSQ 90t/h	RSQ 160t/h	コントロール	変化球	軸を揺るがさない	下半身の強化	上半身の強化	リフトの強化
スタミナ	メンタル	人間性	礼儀	柔軟性	スタミナ	コントロール	変化球	軸を揺るがさない	下半身の強化	上半身の強化	リフトの強化
メンタル	人間性	礼儀	礼儀	柔軟性	スタミナ	コントロール	変化球	軸を揺るがさない	下半身の強化	上半身の強化	リフトの強化
メンタル	人間性	礼儀	礼儀	柔軟性	スタミナ	コントロール	変化球	軸を揺るがさない	下半身の強化	上半身の強化	リフトの強化